

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Alivio		
○保護者評価実施期間	令和5年11月1日		～ 令和6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和5年11月1日		～ 令和6年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年11月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が安心、安全に過ごせる環境	危険箇所を排除し安全に遊べる屋内環境	知育玩具等を増やし遊びの幅を広げる
2	強度行動障害支援に関する対応	強度行動障害支援が必要な利用者に対する共通の対応を職員全員で共有し個別対応を行っている	強度行動障害支援者研修修了者を増やす
3	多動性の強い利用者に対する対応	運動支援を重点的に行い、夜間の痲癢や睡眠不足等を解消し健全な心身の成長を促す	集団でルールを守って行う活動を出来るようにする

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会、保護者会等の実施	利用者の保護者間の交流の機会がない	地域の公民館から餅つき用の道具を借りて、新年の餅つきを実施し、保護者交流の場を作りたい
2	ペアレントトレーニングに関する研修の実施	ペアレントトレーニングに関する知識の不足	事業所全体でペアレントトレーニングに関する研修等を実施する
3	地域住民に開かれた運営	地域住民との交流の機会がない	ハロウィンのイベントを通して地域住民と関わる機会を設ける

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 Alivio

公表日 令和6 年 11 月 1 日

利用児童数 11

回収数 11

	チェック項目	はい			どちらとも いえない		ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	いいえ		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11						
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1			新しい方が多くどういった資格があるのか等がわからない	保護者会を実施し、職員の紹介や資格の説明を行う	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	3	2				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11						
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	11						
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11						
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1					
保護者 への 説明等	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	1	1				
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		11					
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11						
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	1	1	9				
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11						
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11						
非常 時 等 の 対 応	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1					
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11						
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	3					
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2					
	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11						
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11						
満足 度	27 子どもは安心感をもって通所していますか。	11						
	28 子どもは通所を楽しみにしていますか。	11						
	29 事業所の支援に満足していますか。	11						

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	評価項目	評価内容	評価結果	改善点	実施状況	評価者
事業所名	評価項目	評価内容	評価結果	改善点	実施状況	評価者
		手配プログラム	はい	いいえ	正在している点	評価や改善すべき点
環境	1	利用者が発達支援センターのスペースとの関係で適切であるか。	2			
	2	利用施設やその他の状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構成化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、児童の特性にこし、バリアフリー化や視覚的配慮、聴覚上の配慮が適切になされているか。	2			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの通いの動機に合わせた環境となっているか。	2			
	5	必要に応じて、子どもが個別の課題や場所を把握することが認められる環境になっているか。	2			
業務改善	6	事業所を運営するためのPQCLサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	2			
	7	保護者向け相談会により、保護者等の悩み等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	8	職員の悩み等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2			
	10	職員の業務の向上を促すために、研修を受講する機会や法人内で研修を実施する機会が確保されているか。	2			
運営状況	11	適切に定額プログラムが作成、公開されているか。	2			
	12	子どもの特性に対してアセスメントを適切に行い、子どもの個別ニーズへの配慮を反映し、分科として、指導等サービス計画を作成しているか。	2			
	13	指導等サービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関与する職員や保護者から、子どものニーズの把握や関与した検討が行われているか。	2			
	14	指導等サービス計画が職員間にも共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2			
	15	子どもの通いの動機や状況を、標準化されたツールを用いたフォームやアセスメントで、子どもの個別ニーズを把握し、アセスメントやアセスメントを使用する場により活用しているか。	2			
	16	指導等サービス計画には、指導等サービスガイドラインの「指導等サービス計画の作成するべき項目」の「本人支援」、「保護者」、「関係機関」、「関係機関」及び「関係機関」の項目が並び支障なく記載でき、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2			
	18	活動プログラムが個性化しないよう工夫しているか。	2			
	19	子どもの特性に応じて、個別調整と集団活動や調整を組み合わせて指導等サービス計画を作成し、支援が行われているか。	2			
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2			
関係者との連携	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日に行われた支援の振り返りを行い、見つけた改善を共有しているか。	2			
	22	日々の活動に関する記録をとることを徹底し、支援の継続・改善につなげているか。	2			
	23	定期的にモニタリングを行い、指導等サービス計画の進捗の把握を実施し、適切な調整を行っているか。	2			
	24	指導等サービス計画ガイドラインの「4つの基本活動」を実践計画に合わせて実施しているか。	2			
	25	子どもが自己選択できるよう支援の工夫がされている等、自己選択を促すための配慮がされているか。	2			
	26	児童発達支援事業所のサービス計画と連携や関係機関との連携に、その子どもの状況もよく連携した働きが実現しているか。	2			
	27	地域の保健、医療（生活や能力支援機関等）、障害福祉、教育、指導等の関係機関と連携して支援を行う体制が整っているか。	2			
	28	学校の関係機関（保健指導・行事予定等の交換、子どもの予防接種の調整）、関係機関（保健指導、トラブル発生時の連携）を適切に行っているか。	2			
	29	指導等に利用している資料や情報、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で指導等計画と連携しているか。	2			
	30	学校を卒業し、指導等サービス計画から指導等サービス計画等へ移行する機会、それまでの段階での関係機関の連携を確保しているか。	2			
関係者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を取り、必要に応じてサービスや施設や研修を受けられる機会を設けているか。	2			
	32	指導等プログラムや調整との関係や、地域の他のことと連携する機会があるか。	2			
	33	「自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか。	2			
	34	日頃から子どもの状況を把握し、必要に応じて、子どもの発達や状況や課題について共有連携しているか。	2			
	35	事業の計画の向上を推進する観点から、事業に対して指導等プログラム（バリエーション）や調整等の策定で研修の機会が関係機関で行われているか。	2			
	36	指導等プログラム、利用調整等について丁寧な説明を行っているか。	2			
	37	指導等サービス計画を作成する際には、子どもや保護者のニーズの把握、子どもの通いの動機や状況を踏まえて、子どもや保護者の関与を確保する機会を設けているか。	2			
	38	「指導等サービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から指導等サービス計画の理解を得ているか。	2			
	39	保護者からの子育ての悩み等に関する相談に適切に対応し、適切な必要の調整を実施しているか。	2			
	40	子どもの発達を支援することや、保護者等を支援する等により、保護者等と交流する機会を確保しているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2			
関係者との連携	41	子どもや保護者からの相談について、対応の態を整えるとともに、子どもや保護者に相談し、調整があった場合に適切な対応しているか。	2			
	42	各関係機関と連携して、事業所の運営を改善することにより、活動調整や行事予定、連絡調整等の関係も子どもや保護者に対して発信しているか。	2			
	43	個人情報の取り扱いに十分留意しているか。	2			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	45	事業所の行事や活動等を説明する等、地域に開かれた事業運営を行っているか。	2			
	46	事業所定マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や関係機関に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害発生に備え、定期的な訓練、検証も必要事項を履行しているか。	2			
	48	事前に、職員や関係機関、てんかみ関係等との関係性を確認しているか。	2		投資が必要（利用費約150万円）	
	49	非常時対応マニュアルの策定と関係機関との関係性を確認し、関係機関に開くにつれて行われているか。	2		アヒル池一地区は関係機関が150万円	
	50	安全計画を策定し、安全管理に必要な研修や訓練、その必要な計画を策定し、安全管理が十分に行われて支援が行われているか。	2			
関係者との連携	51	子どもの安全確保に関して、事業所との連携が行われるよう、安全計画に基づき活動内容について、関係機関と連携しているか。	2			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方法について、検討をしているか。	2			
	53	活動を中止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をされているか。	2			
	54	このような場合に発生する各種発生を行うについて、定期的に発生し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得る上で、指導等サービス計画に反映しているか。	2			